



12月を迎えて

令和3年も、あっと言う間に12月となりました。学校等は「年度」で区切りとなっていますからまだ途中ですが、「1年」として考えると、一つの年が終わりを迎えます。月日が過ぎるのが早いを感じるとともに、今年を振り返り、その成果や課題について整理して、来年につなげたいと思います。

こうした「振り返り」は、年末や年度末に限らず、もっと短い区切りにおいても行っ



ていけると良いです。具体的には、「今日一日で頑張れたことは何か、改善すべきことは何か」について考えられる人は、日々の成長が確かなものになるでしょう。もっと細かく考えると「今の授業での取り組みはどうであったか」、「今日の部活動はしっかりと取り組めたか」となります。

よく、「反省する」という言葉を聞きますが、自分の間違いを認めて謝ることをイメージする人が多いと思います。もちろんそうしたことも反省ですが、本当の反省とは、振り返って明らかになった課題や問題について、具体的な改善方法を考えて、それを実践することだと思います。何だかとてもむずかしく感じてしまうかもしれませんが、要は「本当に気にするかどうか」です。

もちろん、自分の問題点に気づいた際に、そのことで心配や迷惑をかけた人に「ごめんなさい」の言葉にして伝えることも大切なことです。繰り返しますが、本気で反省できた人は成長します。

人権について考える

2学期は各学年において「人権学習」に取り組みました。授業等で仲間と学ぶ経験は貴重です。しかし本来「人権」は、いつでも意識して考えたり行動したりすべきことです。とてもシンプルに言えば「自分を大切にする、周りの人を大切にする」ことなのです。自分の心や身体を大切にすることは、何よりも大切ですが、私たちの周りにはたくさんの方がいて、関わり合いながら、支え合いながら生活しています。ですから、「周りの人を大切にする」ことはとても重要ですし、そのことは「自分を大切にする」ことにつながります。簡単に言えば「周りの人に嫌な思いをさせない、迷惑をかけない」ことです。このことは、すべての場面において当てはまります。

毎日の学級や部活動での関わりの中で、自分がそのような思いを、周りの人にさせていないかを考えてみてください。また、SNS等を使うこともあると思いますが、そこでも同じように、嫌な思いをさせたり、迷惑をかけたりしていないかを、常に考えてください。相手を慮る（思いやる）ことは、学校に限らず、すべての社会生活において必要で、とても大切なことなのです。

性教育講演会

11月25日(木)に、いなべ総合病院の産婦人科部長でいらっしゃる川村真奈美先生をお招きして、3年生を対象に「性教育講演会」を実施しました。2時間の講演でしたが、川村先生がわかりやすく、かつ親しみやすくお話してくださったので、生徒たちは楽しく集中して聞くことができました。冒頭では、「性について正しい知識をちゃんと知っておかないと、自分の身体を守ることができない」と、その大切さについて教えてくださいました。また、「性の多様性」についての話の中では、「性の問題」が「人権」とつながっていることに触れ、「人権とは、人種・民族、性別を越えて、一人一人がその人らしく自由に生きる権利。簡単に言うと『その人がその人らしく自由に生きる権利』のことで」と話され、生徒たちが取り組んだ「人権学習」とも関連づけてお話してくださいました。様々な立場にある他者のことを慮ることはとても大切です。



また、「性と恋愛」「妊娠とは」「望まない妊娠をなくすために」「性感染症とは」「思春期の悩み」「いい恋愛をするために」「子宮頸がん」等についても、スライドや教職員の寸劇等を交えながら、とてもわかりやすくお話してくださいました。そして、「心配なことがあったら、まず信頼できる大人に相談!」「からだのことは、医師に相談!」と、具体的に示してくださいました。

まとめでは、「性は命、そしてコミュニケーション、素敵なもの」「みんな、ひとりひとりかけがえのない命、理屈ぬきに」「だから自分の命(からだ)と心を大切に」と締めくくられました。

お話を聞いていると、生命の尊さや、生きていることのありがたさや喜びについて、しみじみと考えさせられました。生徒たちもしっかりと受け止め、自分事として考えたことでしょう。

本の紹介



図書室で見つけた絵本を紹介します。「海のアトリエ」です。内容をお話するとネタバレになってしまいますので、詳しくは紹介しませんが、心にゆとりを持つことの大切さや、人の温かさを感じられる、素敵な絵本です。ちょっと悩んだりした時に、自分を見つめ直すこともできます。描かれている絵もきれいですので、是非一度読んでみてください。

嬉しいひとコマ

先日、2年生の保健体育の授業を参観した際に、見つけた嬉しいひとコマです。グローブが色別にきれいに整頓されていました。何でもないことのように、なかなかできないことです。身の回りを整理整頓することは、とても大切です。

